

ジュエリー文化史研究会からのお知らせ—457—

2023.10.13

◎ジュエリー文化史研究会の今後と来年からの進め方

露木宏

お久しぶりです。

6月に熱中症にかかってしまい。また、進行中の『日本の「宝飾装身具」広告史』の最後の仕上げもあり、なるべく外出せず、療養と広告史のマトメ作業に専念していました。

広告史の本は遅れていましたが、11月中には上がる予定ですので、この本を題材に来年1月13日（土）2:00～会合を予定しています（詳細は後日発表・参加は事前予約制）。

10月6日に、宮坂さん、岩崎さん、大場さんと、文化史研究会の今後について検討しました。

露木の体調や学院の仕事を考慮して、1月の会合以降は、教室で集まる形の研究会は、原則止めることになりました。

○ただし、ネット上でのやりとりや、露木の中断している連載は続けます。

○個別の質問や疑問などもこれまでどおり受けます。

○また、会員や会員紹介の方の発表がある場合は会合を設けます。

—このようになりましたので、とりあえずご連絡いたします。

私の体調はだいぶ戻ってきましたが、皆様も体調管理にはくれぐれもご留意ください。それではまた。

ジュエリー文化史研究会

<http://www.j-bunka.jp/>